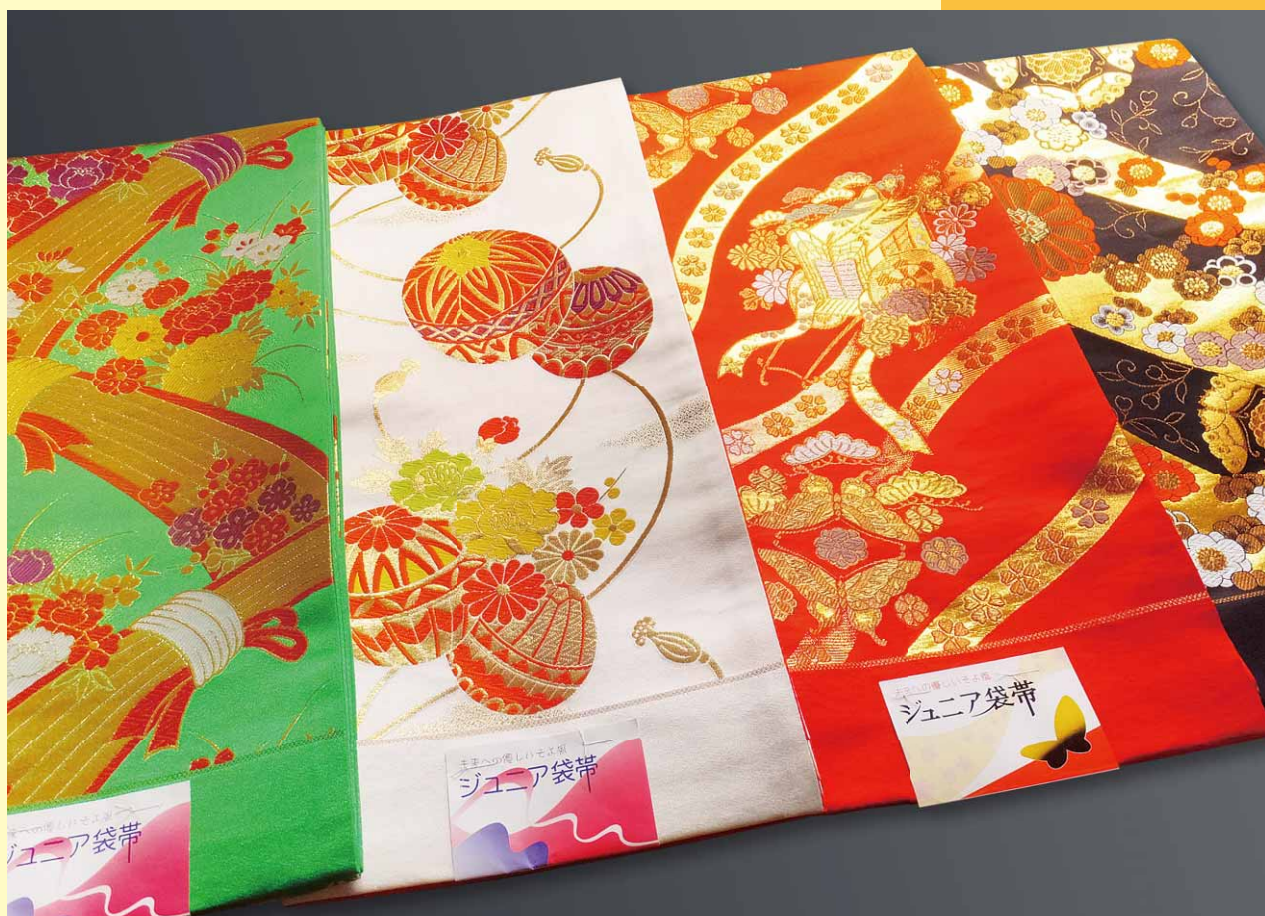


中小企業ぐんま

経済情勢懇談会
県内中小企業（製造業）景況動向調査結果

VOL.637
2014.

11



群馬県中小企業団体中央会

中央会 FLASH

- ・ 後継者育成支援事業
- ・ 合同企業説明会
- ・ 若手社員リフレッシュ研修
- ・ 群馬県商店街振興組合連合会 視察研修
- ・ 経済情勢懇談会

特集Ⅰ

県内中小企業（製造業）景況動向調査結果 8

特集Ⅱ

平成26年版労働経済白書 10

LAN Local Area News

- ・ 群馬県素材生産流通（協） ・ 桐生織物（協）
- ・ 群馬県コンクリートブロック事業（協）

組合訪問

・ 群馬学習塾（協）..... 13

TOPICS

情報連絡員だより

インフォメーション

..... 14

..... 15

..... 16

めいど in 群馬

～ 七五三の帯 ～ 〈表紙の写真〉

11月になると、各地の神社は七五三のお参りで賑わう。今回ご紹介するのは、女の子の七五三帯。生産するのは、桐生市の岡村織物有限会社。独特な形をしたノコギリ屋根の窓からは柔らかな光が工場内に差し込み、織機の音が響く。「自然と声が大きくなるんだよ」と笑顔で話をしてくれたのは、3代目社長の岡村慶男氏。岡村氏は20代でこの世界に飛び込み、以来40年間、帯作りの伝統を紡いでいる。

帯にもその時代の流行を反映した色や柄があるが、同社の帯地の色は黒、赤、緑、白、金、銀に絞っており、最近では、どんな色の着物にも似あう金の帯地が人気とのこと。その帯地に4～7色の生糸で手毬や御所車などの古典的な柄を織り込む。七五三の帯は、全通（ぜんつう）と呼ばれ、表面全体に柄を織り込むため、1台の織機では1日2本織るのが限度。

桐生は、京都・西陣、福岡・博多と並ぶ帯地の三大産地で、多くの織物関連業者が集積する。そのため、同社で扱う帯は、糸の染色、撚り、整経などの全ての工程が地域の業者で行われ「桐生織」と呼ばれる。

時代の流れと共に七五三の祝い方の選択肢は増えてきたが、やはり着物に帯という装いがしっくりくる。その帯は、伝統と技術を守る多くの人によって支えられ、さらに「メイドイン桐生」であることに群馬県民として誇りに感じる。

岡村織物有限会社（桐生織物協同組合所属）
桐生市境野町6-507 ☎0277-44-3669

